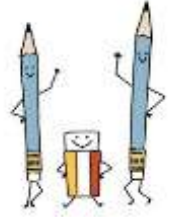




特集：鉛筆の持ち方は？ はしの持ち方は？

1 きれいな文字は、正しい持ち方から

今からでも大丈夫です。あせらないで正しい持ち方で練習しましょう。鉛筆の正しい得すれば、小さな子どもでもバランスのとれたキレイな字を書くことができるので



2 間違った持ち方は、直すのが大変！！

ひらがなや数字を書く前に身につけてほしいのが、「鉛筆の正しい持ち方」です。一度ついてしまった持ち方は、なかなか直りません。直すことは非常に困難なのです。

正しい持ち方になっても、指に力がはいてガチガチに固まった子どもの手は、文字を書くことも線を引くこともできそうもない状態に……。これでは、せっかく文字を書くことに興味を見せた子どものやる気をなくしてしまいそうです。

文字を綺麗に書くためにも、入学準備を行っている今の時期に、鉛筆の正しい持ち方を身につけてほしいと思います。

3 書く練習の仕方

分かりやすく簡単に取組めるように3つのステップで取組みましょう。



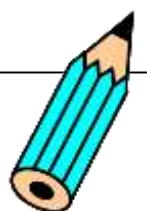
①家で名前やひらがなの練習をするときに、初めに正しい鉛筆の持ち方にしてから書く練習を始めてみてください。

※書くことに夢中になって、初めは正しい持ち方が数分しかできないかもしれません。

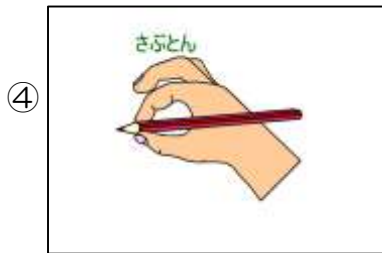
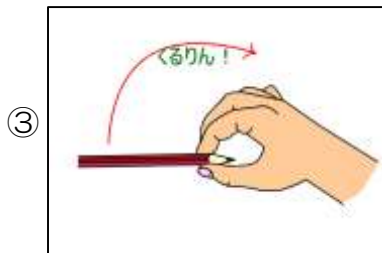
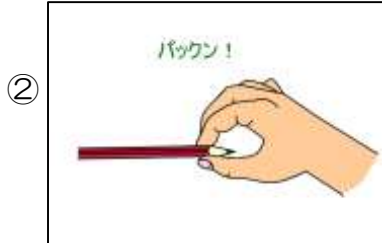
②叱らず、『ちゃんと持ってるかな？』とお子さんの様子を見てあげてください。



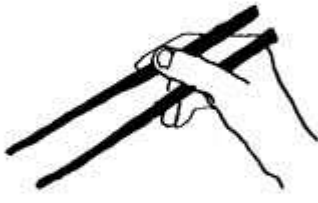

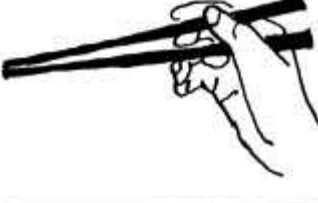
③その声を聞いて、正しく持とうと努力していたり、自分で正しく持ち直すことができたらほめてあげてください。

※見ていてくれると分かったら、もっとがんばろうという気持ちになりますよ。



4 鉛筆の持ち方は、はしの持ち方と同じ



①	1) 右の手の親指、人差し指・中指で1本の箸を支える（えんぴつを持つことと同じ）。くすり指と小指はかるく曲げる。	
②	2) 中指と人差し指の間に、もう1本の箸を入れて固定し、箸先をそろえる。	
③	3) 上の箸を親指と人差し指、中指で曲げたり、伸ばしたりする。下の箸は動かさないようにする。	
④	4) 上の箸先を次第に大きく開く。	
⑤	5) 上の箸をつまめる。	



毎日、ちょっとずつね。

がんばってね！

